2025年3月期
決算説明会

2025.5.28

Ⅰ. 2025年3月期 決算概況

Ⅱ. 2026年3月期 見通し

Ⅲ. 事業概況

Ⅰ. 2025年3月期 決算概況

Ⅱ. 2026年3月期 見通し

Ⅲ. 事業概況

25年３月期 連結決算概況

（単位：億円）

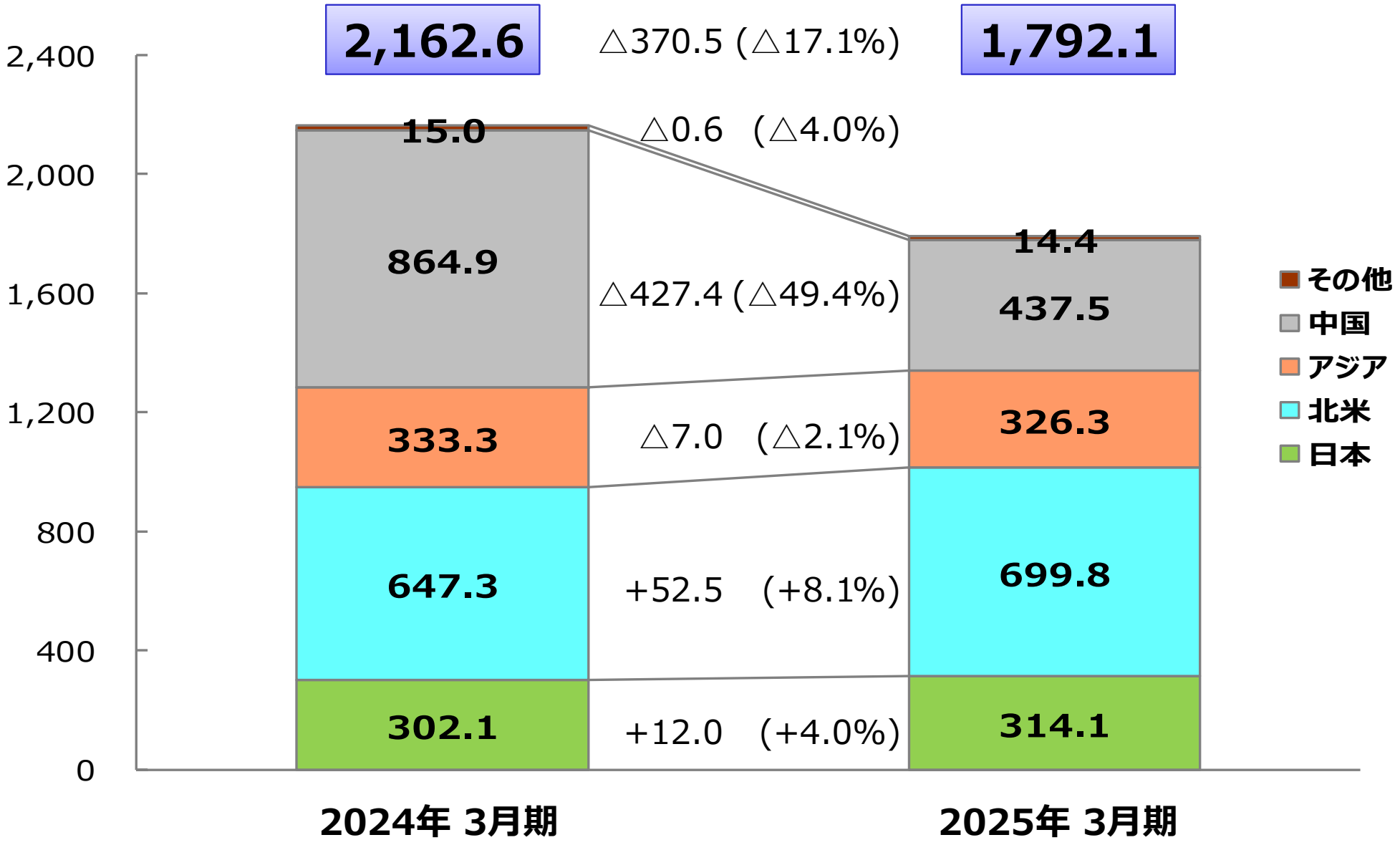
	2024年 3月期	2025年 3月期	増　減
売上収益	2,162.6	1,792.1	△17.1%
営業利益	111.2	63.5	△42.9%
税引前利益	120.2	67.9	△43.5%
当期利益	83.8	50.4	△39.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	74.5	45.5	△38.9%
基本的１株当たり当期利益	502.62円	306.95円	△195.67円
１株当たり配当金	90.00円 ＊中間 40円，期末 50円	72.00円 ＊中間 36円，期末 36円	△18.00円
	($1=¥145)	($1=¥152)	

主に中国地域の製品に含まれる貴金属価格下落や受注減に加え
急激な生産変化対応費用や経済補償金（退職金に相当）等の一過性費用等により減収減益

25年３月期 連結決算概況 地域別売上収益

（単位：億円）

（セグメント間の内部売上収益及び振替高を除く）



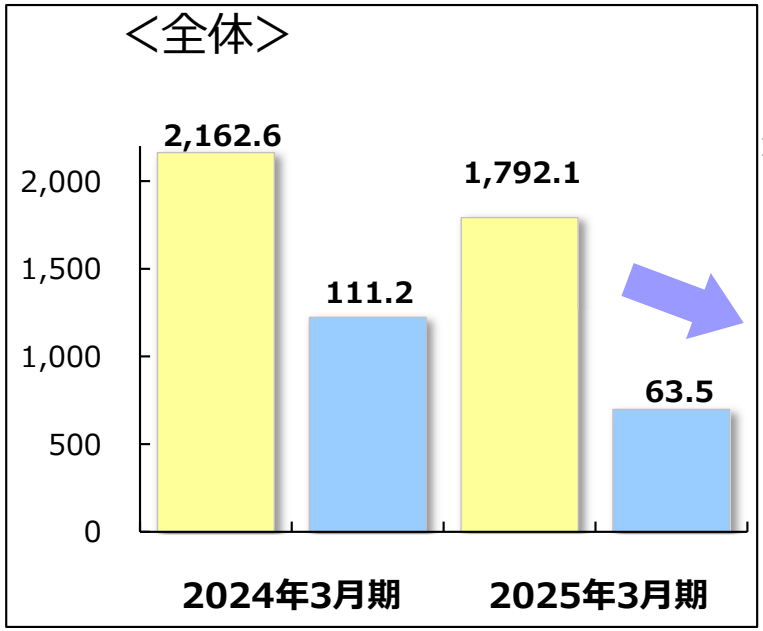
日本･北米での増収はあるものの、主に中国の大幅な減収により全体で減収

25年３月期 連結決算概況 地域別営業利益

（単位：億円）

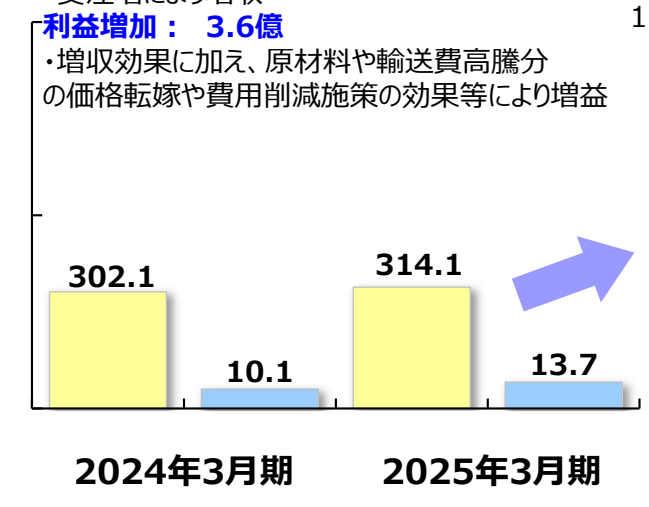
売上収益　利益増減
営業利益　営業損失

＜全体＞



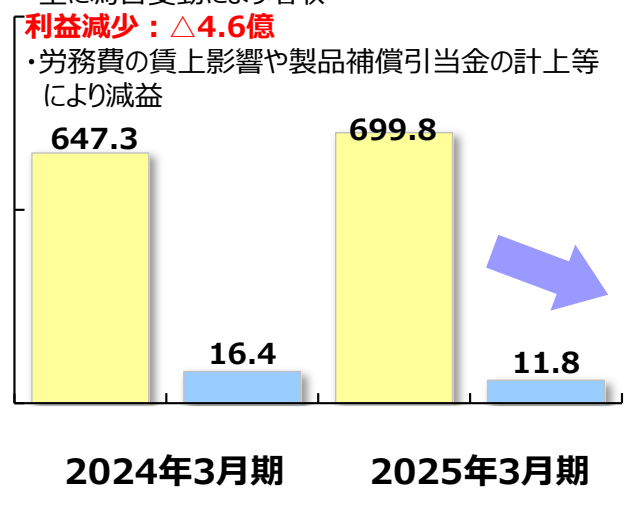
＜日本＞

売上増加：12.0億
・受注増により増収
利益増加：　3.6億
・増収効果に加え、原材料や輸送費高騰分の価格転嫁や費用削減施策の効果等により増益



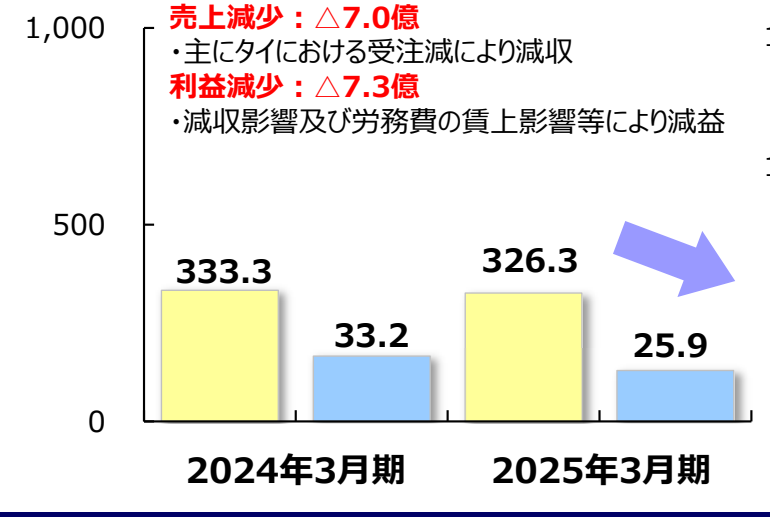
＜北米＞

売上増加：　52.5億
・主に為替変動により増収
利益減少：△4.6億
・労務費の賃上影響や製品補償引当金の計上等により減益



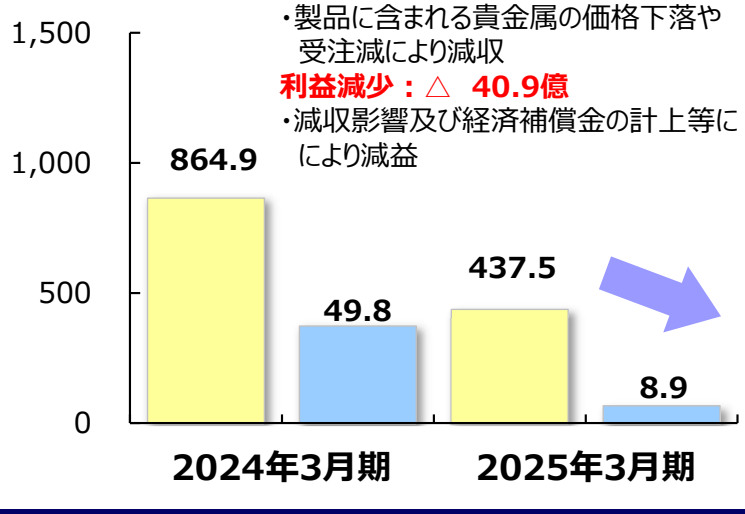
＜アジア＞

売上減少：△7.0億
・主にタイにおける受注減により減収
利益減少：△7.3億
・減収影響及び労務費の賃上影響等により減益



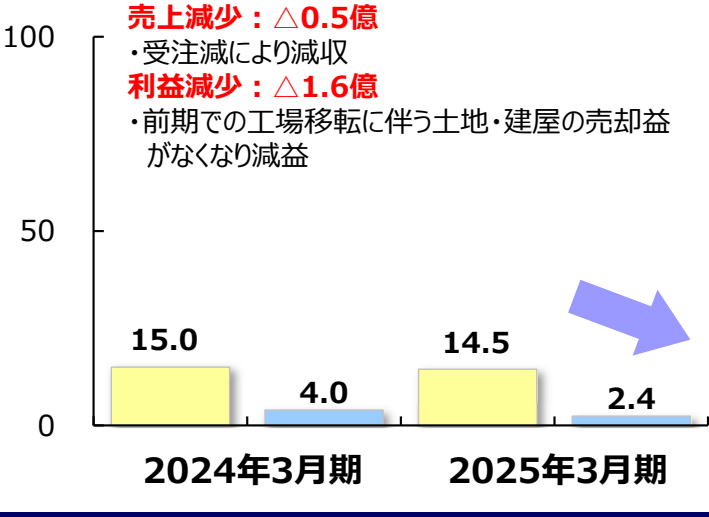
＜中国＞

売上減少：△427.5億
・製品に含まれる貴金属の価格下落や受注減により減収
利益減少：△　40.9億
・減収影響及び経済補償金の計上等により減益



＜その他＞　（ブラジル）

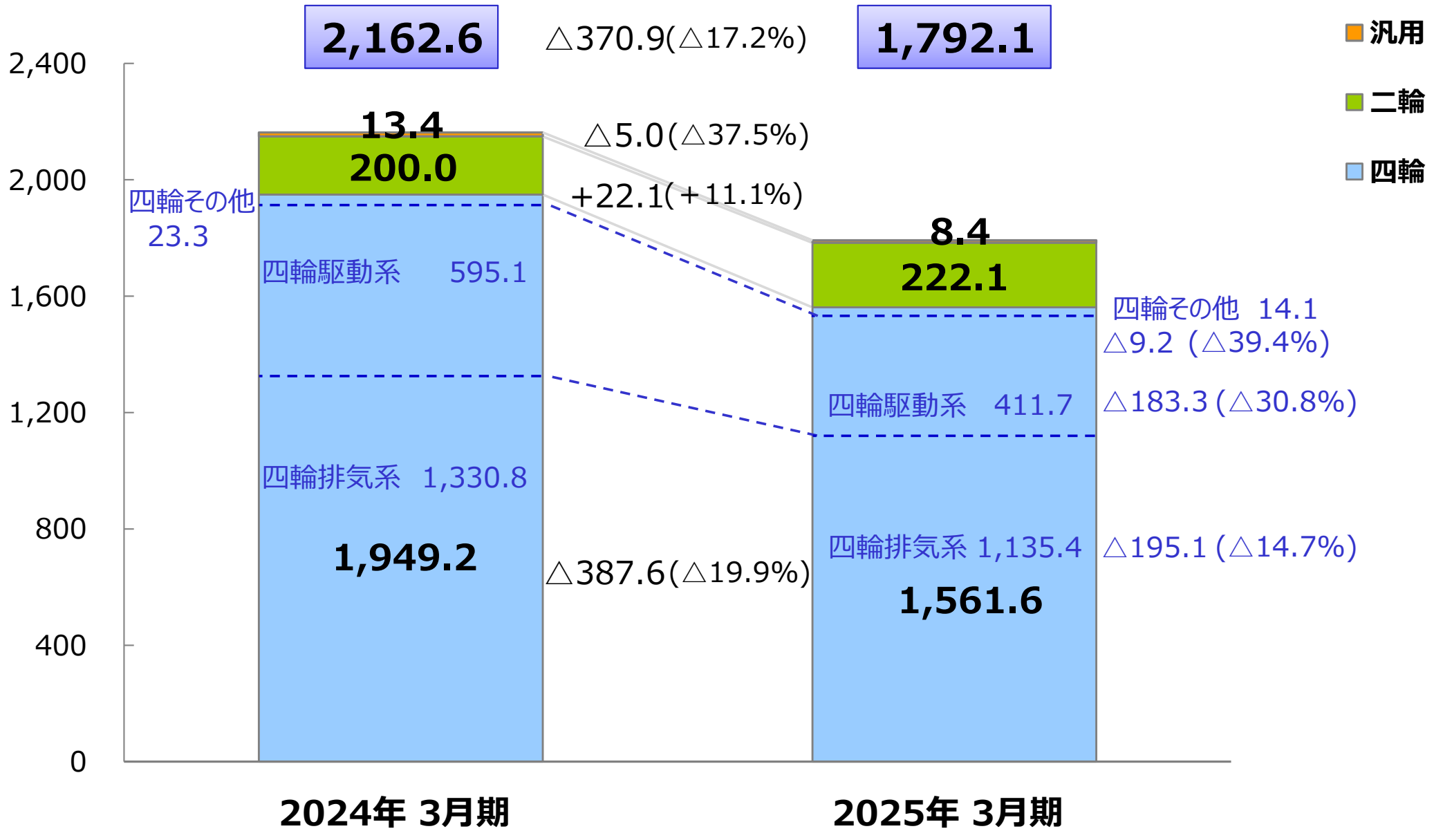
売上減少：△0.5億
・受注減により減収
利益減少：△1.6億
・前期での工場移転に伴う土地・建屋の売却益がなくなり減益



前期に対し日本地域は増益、日本除く全地域で減益

25年３月期 連結決算概況 製品別売上収益

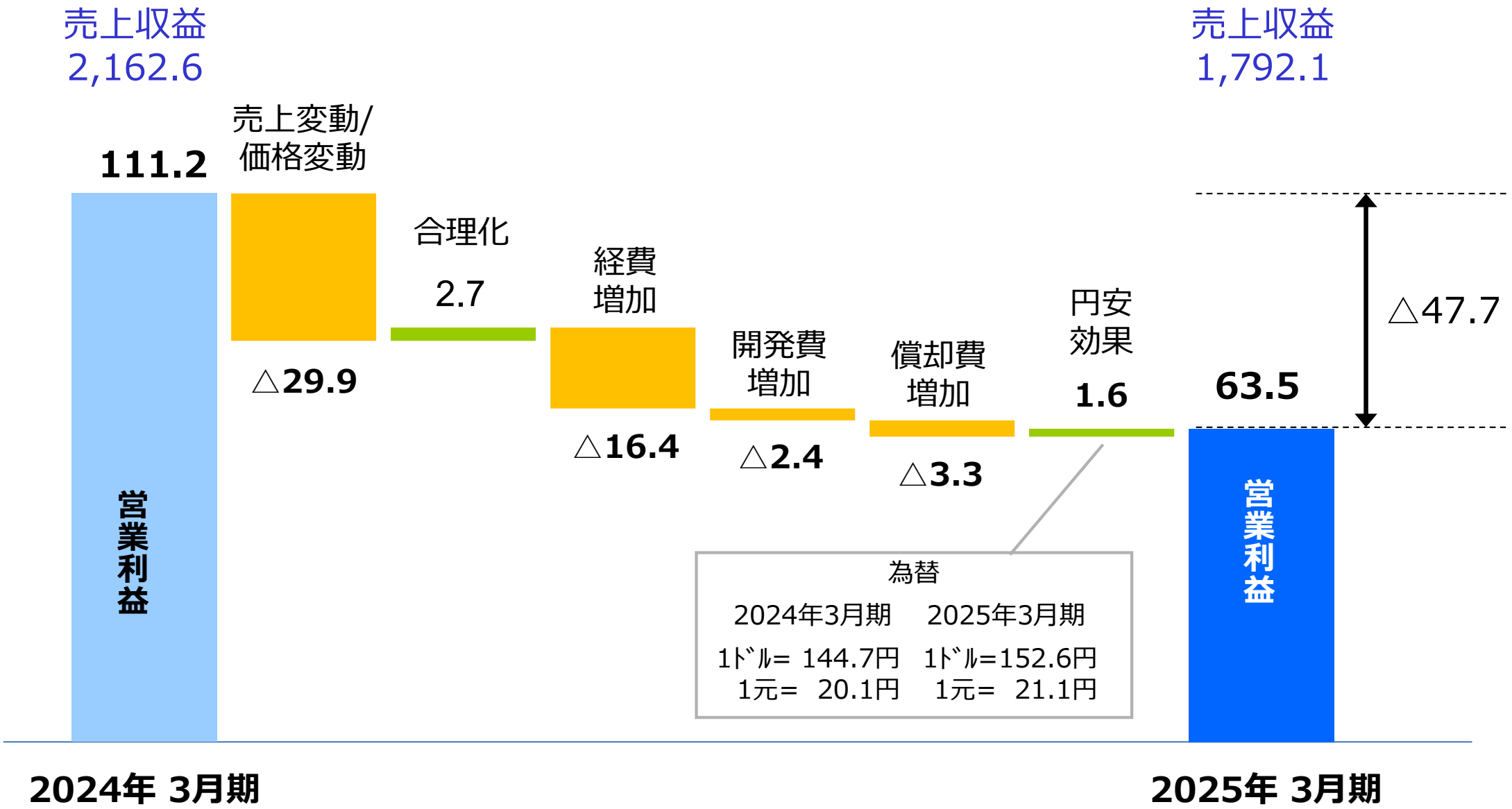
（単位：億円）



主に自動車部品四輪の受注減により減収

25年３月期 連結決算概況 営業利益増減要因

（単位：億円）



中国の大幅な受注減少に加えて、経済補償金（退職金相当）等の一過性費用の発生により減益

Ⅰ. 2025年3月期 決算概況

Ⅱ. 2026年3月期 見通し

Ⅲ. 事業概況

26年３月期連結見通し

（単位：億円）

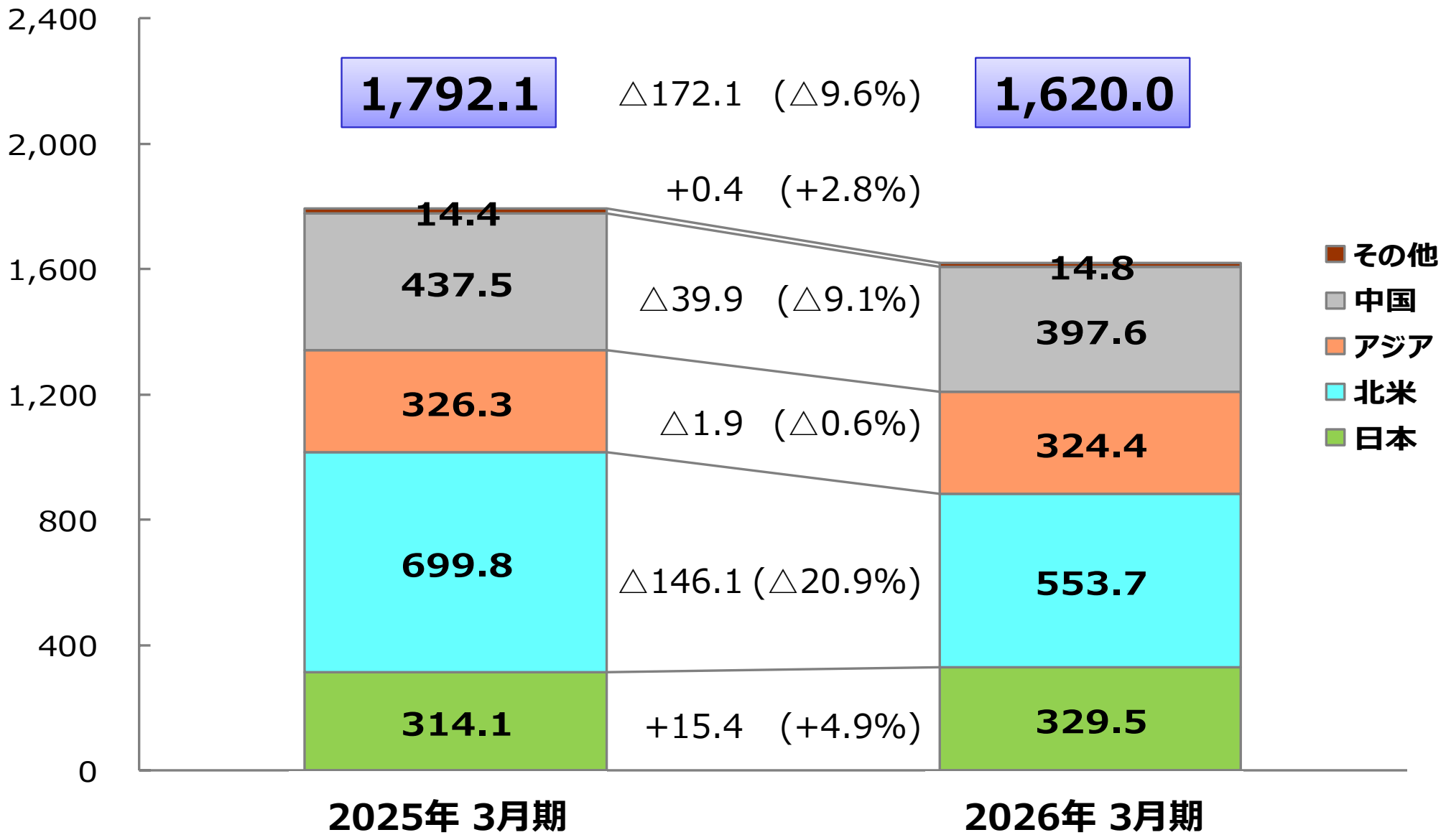
	2025年 3月期	2026年 3月期	増　減
売上収益	1,792.1	1,620.0	△9.6%
営業利益	63.5	68.0	7.1%
税引前利益	67.9	70.0	3.1%
当期利益	50.4	49.0	△2.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	45.5	42.0	△7.7%
基本的１株当たり当期利益	306.95円	283.44円	△23.51円
１株当たり配当金	72.00円 ＊中間 36円，期末 36円	72.00円 ＊中間 36円，期末 36円	0.00円
	($1=¥152)	($1=¥142)	

客先からの受注減に加え為替影響により減収
営業利益では価格転嫁に加え、利益体質強化の効果等により増益

26年３月期連結見通し 地域別売上収益

（単位：億円）

（セグメント間の内部売上収益及び振替高を除く）



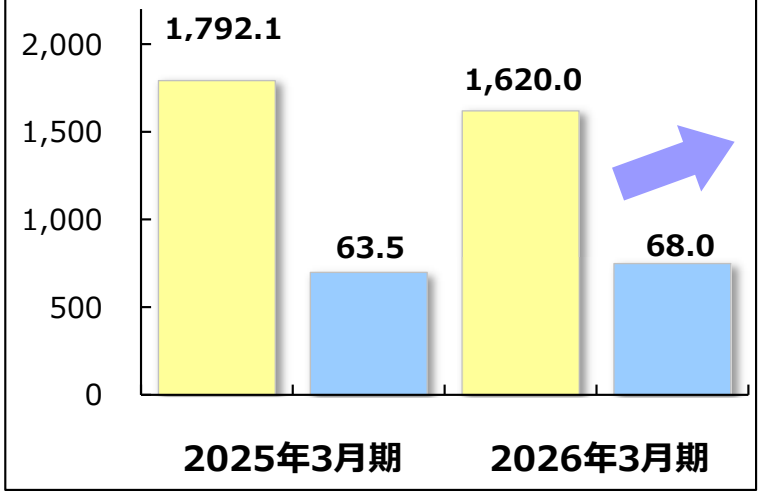
主に中国･北米地域において客先からの受注減により減収となる見通し

26年３月期連結見通し 地域別営業利益

（単位：億円）

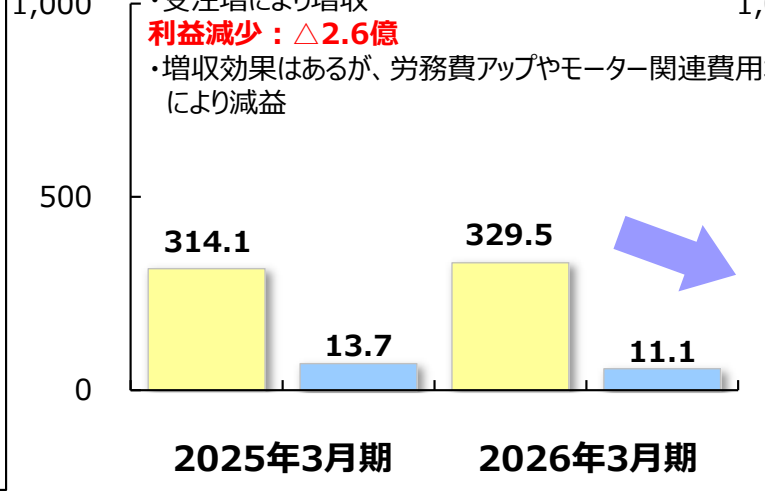
売上収益　利益増減
営業利益　営業損失

＜全体＞



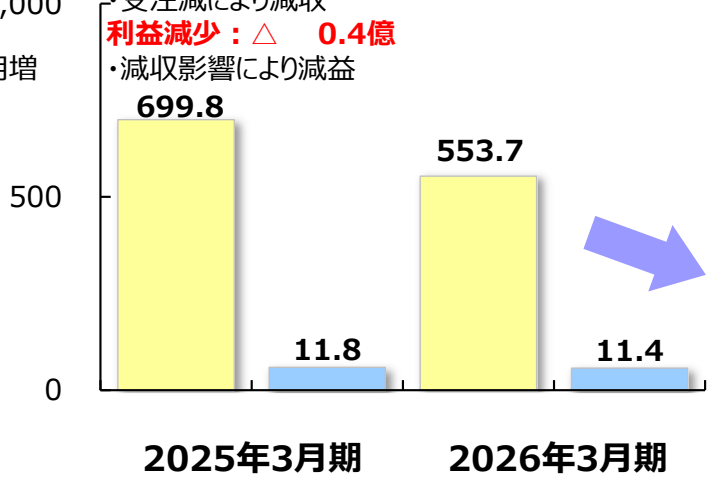
＜日本＞

売上増加：　15.4億
・受注増により増収
利益減少：△2.6億
・増収効果はあるが、労務費アップやモーター関連費用増により減益



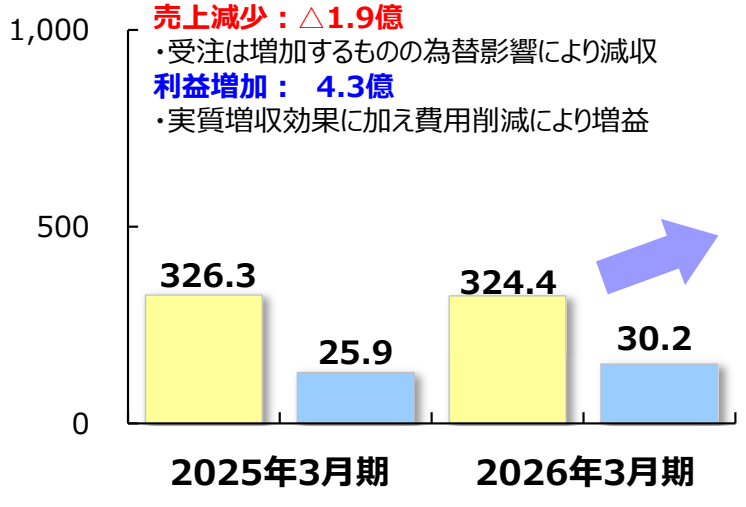
＜北米＞

売上減少：△146.1億
・受注減により減収
利益減少：△　0.4億
・減収影響により減益



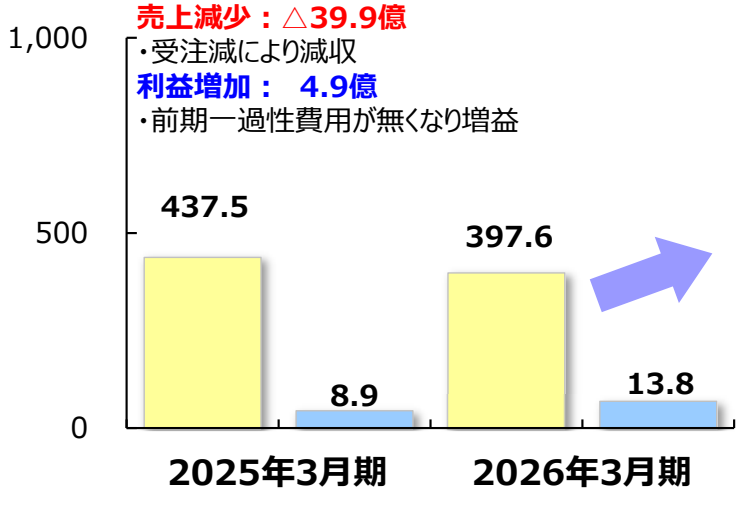
＜アジア＞

売上減少：△1.9億
・受注は増加するものの為替影響により減収
利益増加：　4.3億
・実質増収効果に加え費用削減により増益



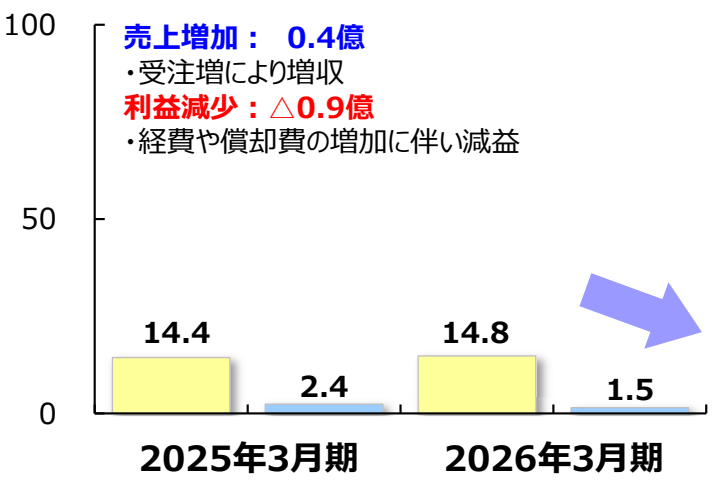
＜中国＞

売上減少：△39.9億
・受注減により減収
利益増加：　4.9億
・前期一過性費用が無くなり増益



＜その他＞　（ブラジル）

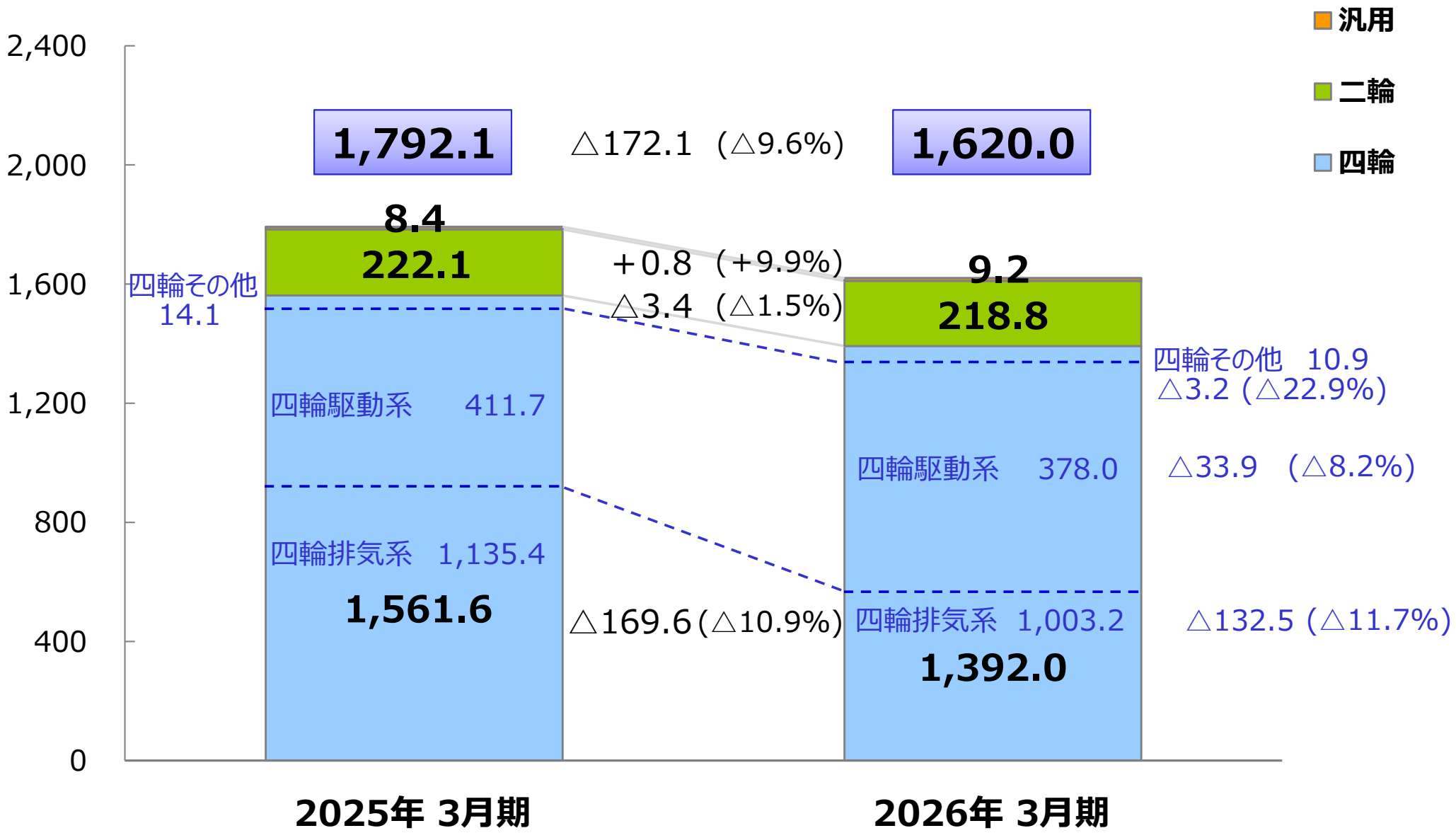
売上増加：　0.4億
・受注増により増収
利益減少：△0.9億
・経費や償却費の増加に伴い減益



日本・北米は減益となったものの前期一過性費用や費用削減によりアジア・中国では増益見通し

26年３月期連結見通し 製品別売上収益

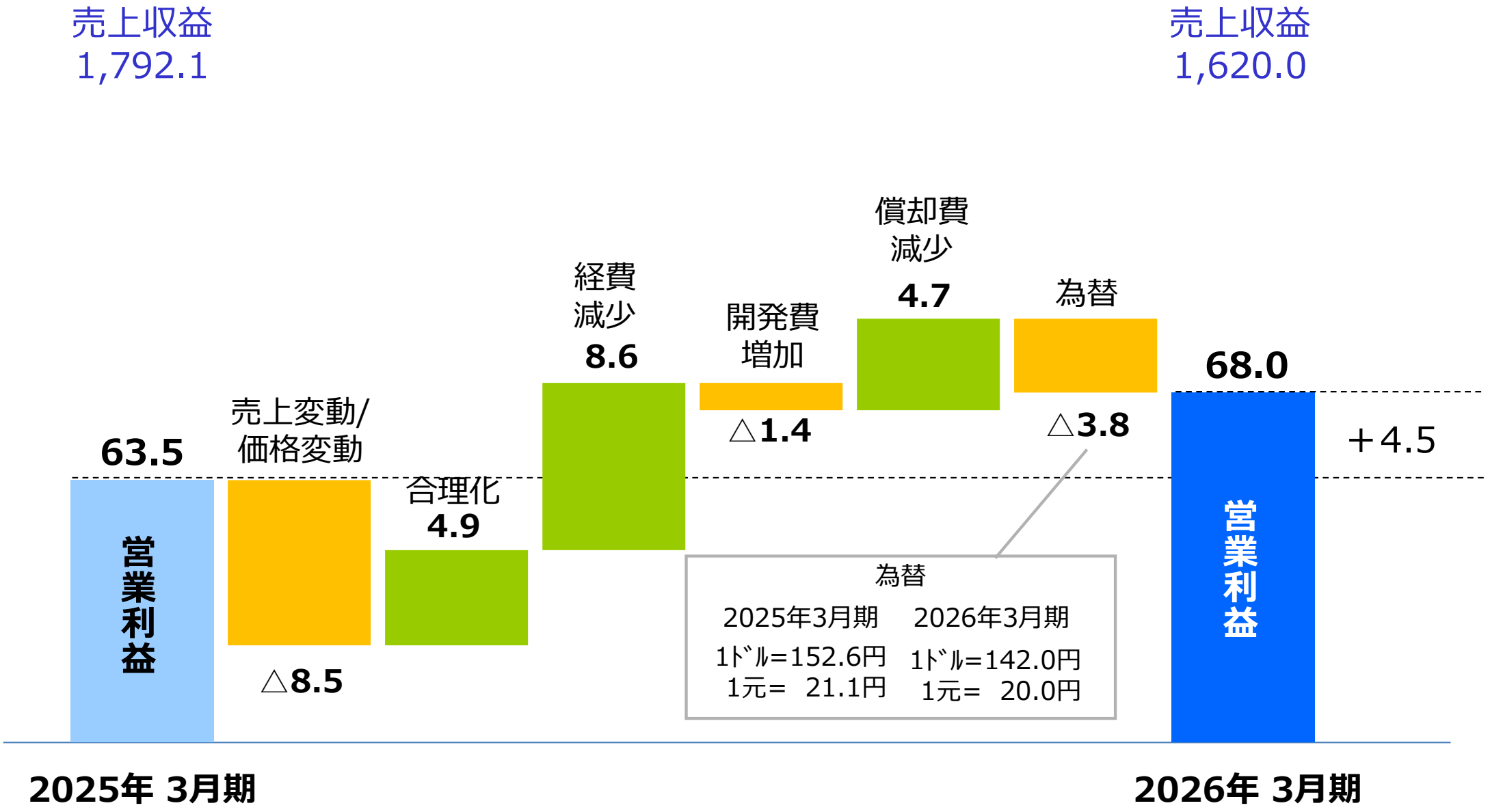
（単位：億円）



主に自動車部品四輪の受注減少により減収の見通し

26年３月期連結見通し 営業利益 増減要因

（単位：億円）



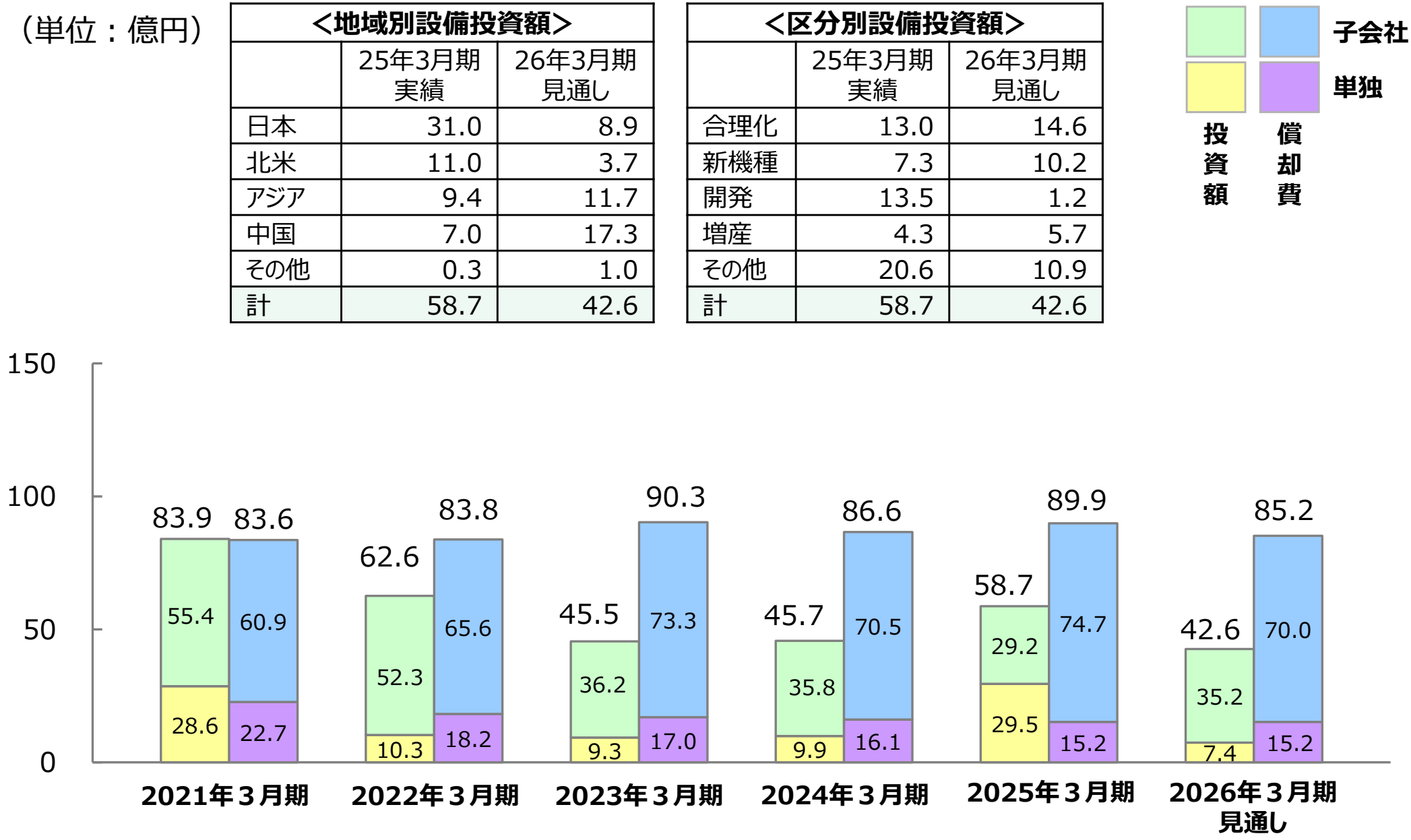
顧客からの受注減少等はあるものの、合理化や利益体質改善効果・償却費減少により増益見通し

26年３月期連結見通し 設備投資額の推移

（単位：億円）

＜地域別設備投資額＞	25年3月期 実績	26年3月期 見通し
日本	31.0	8.9
北米	11.0	3.7
アジア	9.4	11.7
中国	7.0	17.3
その他	0.3	1.0
計	58.7	42.6

＜区分別設備投資額＞	25年3月期 実績	26年3月期 見通し
合理化	13.0	14.6
新機種	7.3	10.2
開発	13.5	1.2
増産	4.3	5.7
その他	20.6	10.9
計	58.7	42.6



子会社の合理化投資、新機種投資が増加

Ⅰ. 2025年3月期 決算概況

Ⅱ. 2026年3月期 見通し

Ⅲ. 事業概況

経営目標 ～2030年ビジョン～

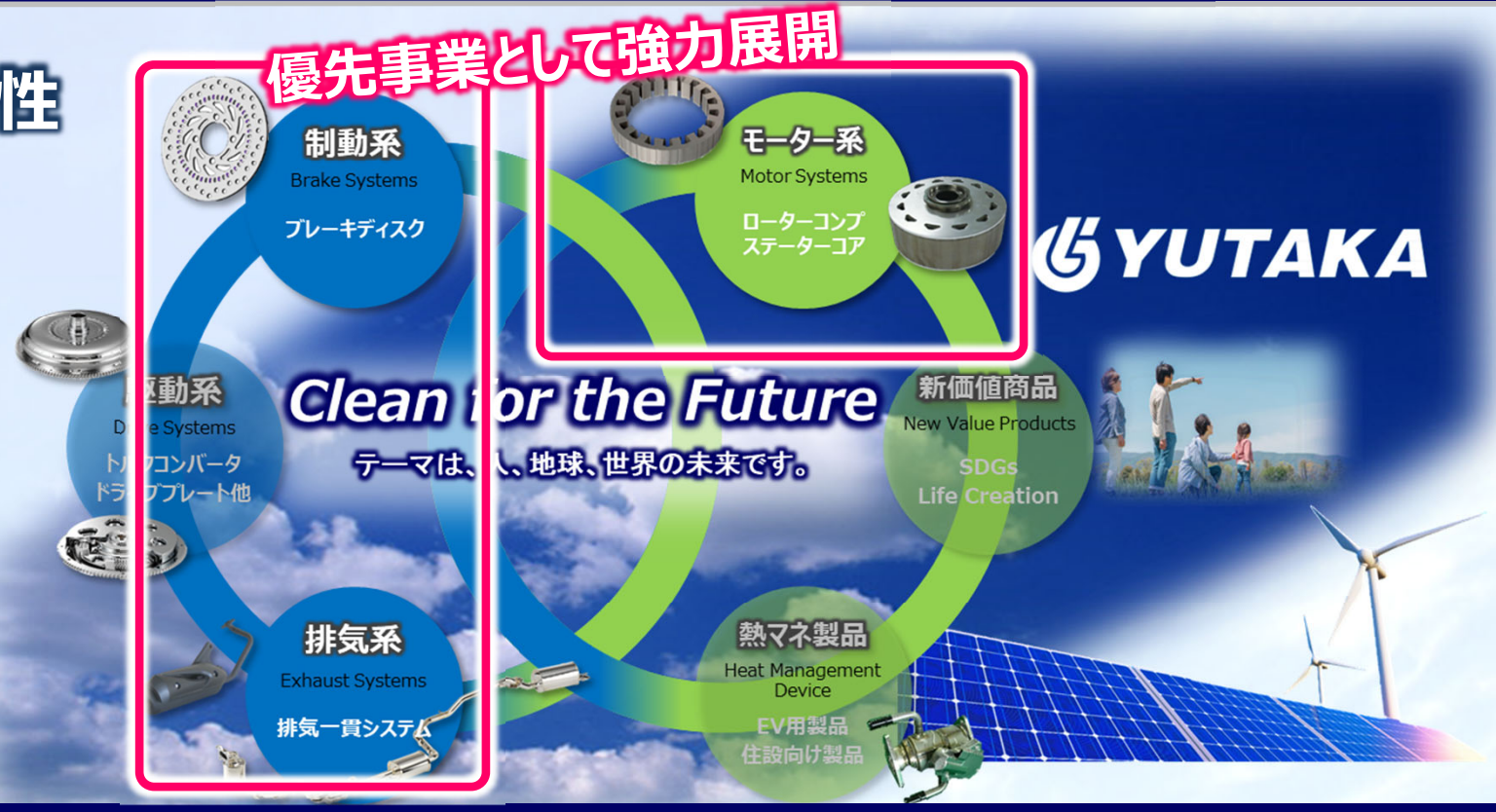
独自技術を強化拡大し
新しい時代に「期待される企業」となる

・Yutaka製品を世界のお客様に広め、地球環境に貢献する
・電動化時代に向けて、新しい価値を生み出す商品を創造する
・地域を越えて英知を結集し、グループの総合力を発揮する

経営戦略

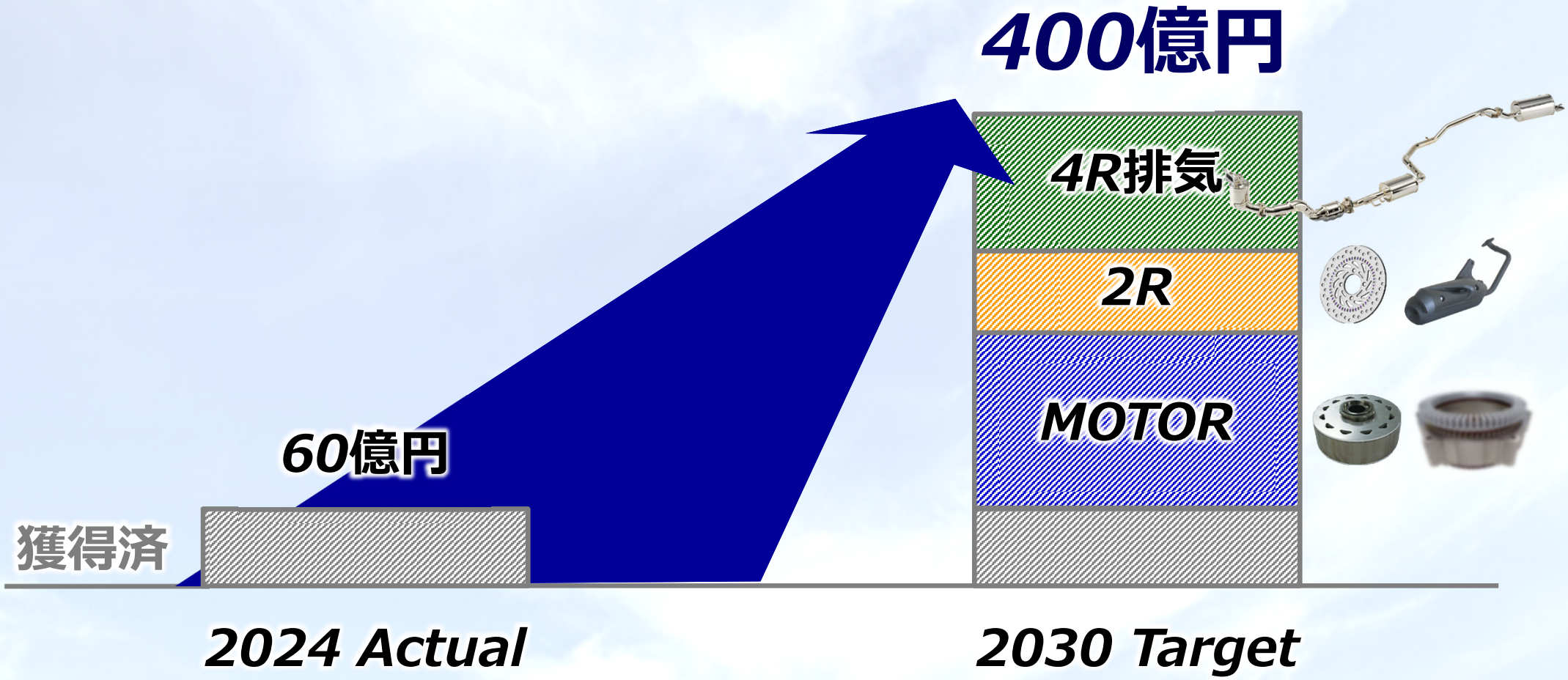
排気・制動部品・電動車部品を事業の柱とし、環境・社会に貢献する

事業方向性



既存事業の販路拡大とモーターを優先に事業構造転換を図る

2030年 HM様以外の顧客受注 売上げ目標値



HM様以外の売り上げ 400億円を目指す

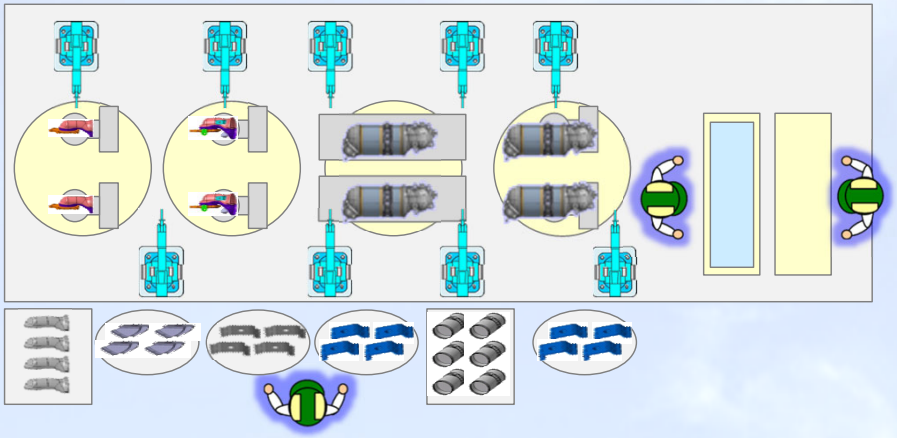
4R排気

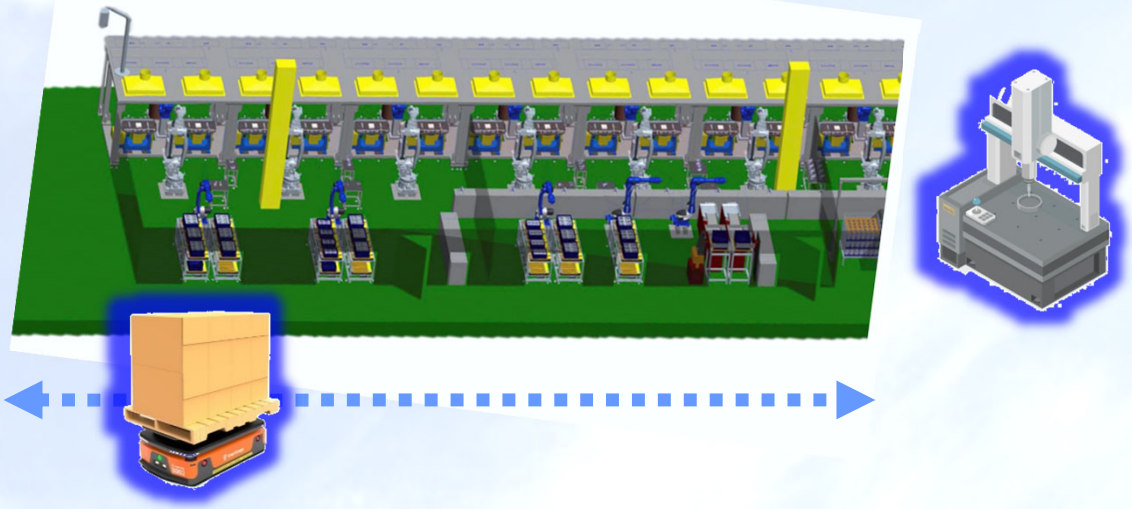
無人化ライン 企画完了・段取り開始

現状

加工自動　セット自動　＋　物流自動　検査自動

目標
原価削減





●既存生産ライン比

要員：　3 → 0　（▲3名/直）

能力：490 → 699 (+219台/直)



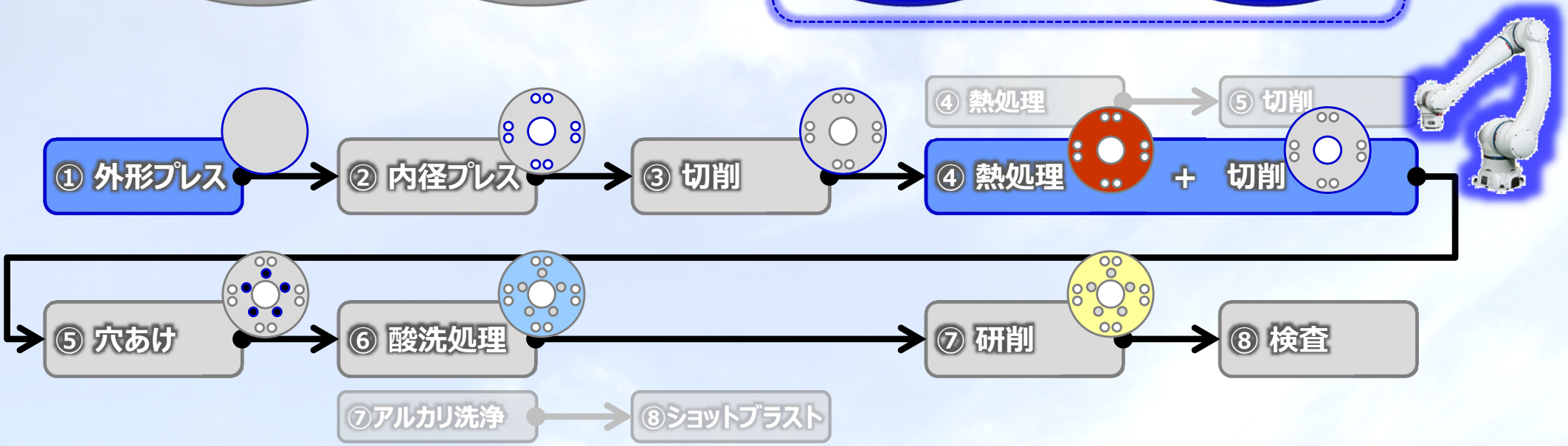
自動化の追求として“無人化”に挑戦

2R 工程改善からライン全体効率化

現状

C/T短縮　工程短縮　＋　一貫内製加工　自動搬送

目標 原価削減



●既存生産ライン比
内製比率：100%
生産能力：1,028 → 1,360 (+332台/直)
要員数　：　3.5 →　1.5　(▲2名/直)



効率化の追求として全体効率を拡大

MOTOR

Pilot Lineの見極めによる技術手の内化

現状

積層プレス

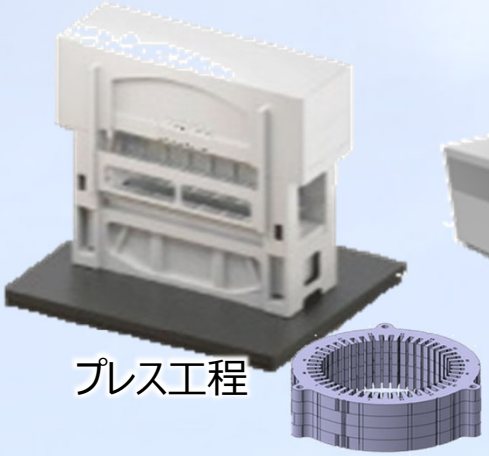
ステーター
ロータCOMP

＋

目標
事業拡大

ステーター
巻線

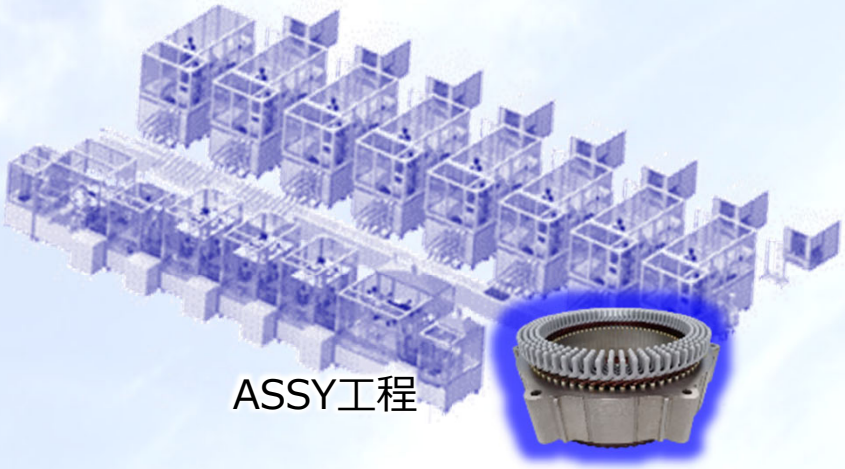
ステーター
接合・塗装



プレス工程



COMP工程

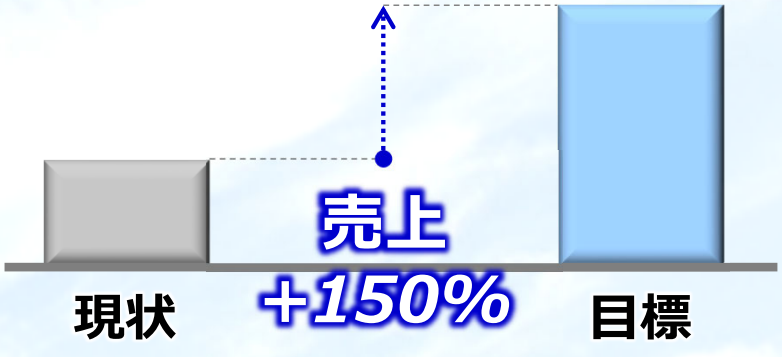


ASSY工程

●新規習得技術

巻線　　：分布巻き・ヘアピン成型・コイル捻り

接合･塗装：銅接合・粉体塗装・ワニス処理



電動化へのシフトを目指し電動事業を拡大展開

サステナビリティ活動　2050年 カーボンニュートラルに向けた取組み

■自家発電 展開

太陽光発電(浜松)稼働開始

導入効果実績 (浜松)
年間 350Mwh発電
CO2排出量 150t削減



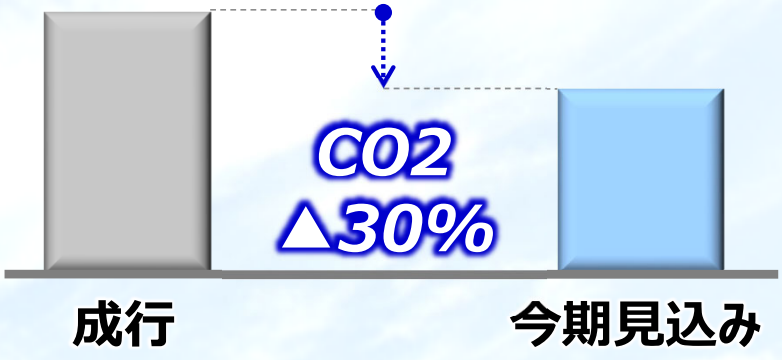
■ CO2フリー電気調達

地球にやさしい電力
年間 6,200Mwh活用
CO2排出量 2,600t削減



地球にやさしく、未来をあかるく。
静　岡 Greenでんき

三重県産CO2フリー電気を使用
三重美し国 Greenでんき



カーボンニュートラルに向けて CO2を排出しない電力を調達

次代を切り拓け
~Be a Game Changer~